

## 令和7年度第1回鎌倉市図書館協議会議事日程

令和7年5月29日（木）午前10時～

鎌倉市中央図書館 3階 多目的室

### 1 議 事

- (1) 鎌倉市図書館協議会委員の交代について
- (2) 報告事項
  - ア 令和7年度予算について
  - イ 令和7年度重点事業について
  - ウ 第5次鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定について
  - エ 鎌倉市図書館基本統計表について
  - オ 第4次鎌倉市図書館サービス計画の進捗状況及び事業の評価について
- (3) 協議事項
  - ア 図書館の施設整備について
  - イ 第5次鎌倉市図書館サービス計画について
  - ウ 令和8年度図書館振興基金活用事業について
- (4) その他

### 2 資 料

- (1) 鎌倉市図書館協議会委員名簿
- (2) 令和7年度図書館事業予算
- (3) 令和6年度の重点事業結果
- (4) 令和7年度の重点事業
- (5) サービス計画・子ども読書策定資料
- (6) 基本統計表 2024
- (7) R6年次評価表(委員コメント入り)
- (8) これからの図書館のあり方について
- (9) 鎌倉市図書館振興基金活用事業第17号提案
- (10) 鎌倉市図書館振興基金の推移
- (11) 鎌倉市中央図書館館内案内図

## 鎌倉市図書館協議会委員名簿

任期：令和6年（2024年）12月16日  
～令和8年（2026年）12月15日

氏名	職業又は役職	選出区分	備考
かじかわ えつこ 梶川 悦子	市民	市民委員	
いとう のぶよ 伊藤 信代	鎌倉市立深沢小学校校長	学校教育関係者	令和7年 5月21日 任命
せん すずれつ 千 錫烈	関東学院大学 社会学部現代社会学科教授	社会教育関係者	委員長
おざわ ゆか 小澤 由香	特定非営利活動法人 まるまーる 代表	家庭教育の向上 に資する活動を 行う者	委員長 職務代理者
おざわ めぐみ 小澤 恵	鎌倉女子大学 図書館 図書課長	学識経験者	

## 令和7年度鎌倉市図書館事業予算

図書館費		令和6年度	令和7年度	増減額	(単位:千円)
		104,113	99,648	-4,465	
報酬		168	168	0	図書館協議会委員報酬
報償費		148	163	15	資料提供者謝礼など 研修講師、手話通訳の謝礼(回数増)
旅費		40	40	0	会計年度任用職員の交通費
需用費		56,579	46,338	-10,241	
	消耗品費	30,863	33,833	2,970	東アジア文化都市連携事業(書籍購入) 物価高騰分増額など
	(うち資料費)	(27,207)	(27,258)	51	資料費:本・雑誌・新聞・視聴覚資料の購入費
	燃料費	38	35	-3	公用車のガソリン代
	印刷製本費	429	116	-313	バーコードラベル作成(隔年で作成)
	光熱水費	7,852	7,310	-542	電気料、上下水道料
	維持修繕料	17,155	4,647	-12,508	中央図書館の各種修繕 照明器具のLED化修繕終了(-13,915)など
	備品修繕料	165	165	0	備品修繕
	車両修繕料	77	232	155	車両修繕費、点検費など
役務費		4,152	4,331	179	
	電信料	2,393	2,491	98	Wi-Fiなど
	運搬料	158	201	43	県との連絡便
	手数料	1,578	1,616	38	建物の維持管理にかかわる各種機械類の点検など
	保険料	23	23	0	中央図書館の建物の保険
委託料		17,564	17,157	-407	設備等保守管理、清掃業務、施設管理の保守点検 巡回搬送業務など 中央図書館Wi-Fi設置委託完了(-693)など
使用料及び賃借料		22,222	26,267	4,045	データベース使用料・新刊マーク 図書館システム更新(+3946)など
工事請負費		0	0	0	
備品購入費		330	1,343	1,013	図書館振興基金活用事業 0件 点字用ディスプレイ、返却用ブックポスト等
負担金補助及び交付金		70	110	40	日本図書館協会、神奈川県図書館協会の分担金
積立金		2,840	3,724	884	図書館振興基金、ふるさと寄附金など
公課費		0	7	7	自動車重量税
総務費 文書広報費 市史編さん事業		129	70	-59	歴史的資料(公文書)の保存等に係る消耗品など。 一部、近代史資料担当に関連する部分を図書館管理運営事業に移管。

令和6年度（2024年度）第4次鎌倉市図書館サービス計画の重点事業内容

目標1 利用者にとって魅力ある図書館

重点事業 市民や鎌倉に関わる人にとって魅力ある蔵書づくり

1 鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築の検討

(1)現在の蔵書構成及び出版状況を比較分析し、鎌倉市にふさわしい蔵書構築を検討します。

2 資料と利用者のニーズを熟知した職員の育成

(1) 長期的展望に沿った研修計画を策定して、知識やスキルの継承ができるよう職員の育成を図ります。

【成果】蔵書分析を行い、蔵書回転率、蔵書新鮮度、蔵書更新率ともに維持することができた。  
貸出数はコロナ稼前の水準に戻りつつある。

職員が職歴ごとに必要な研修を把握できる計画を作成し、共有した

目標2 誰もが使いやすい図書館

重点事業 図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

1 一人ひとりに合わせた資料の提供とその周知

(4) 有料宅配サービスをはじめとする図書館の様々なサービスを周知できるよう広報を強化します。

2 各種電子サービス等デジタル環境の整備

(1)タブレットの貸し出しやWi-Fiの設置など、館内のICT環境の整備方法を検討します。

3 利用者の利便性を高める図書館業務システムの更新

(1) 令和6年度(2024年度)に新図書館機能を視野に入れて図書館業務システムを更新し、利便性の向上を図ります。

【成果】Wi-Fiが中央図書館に導入された。

システム更新により利用者の利便性が向上した。

地下道ギャラリー、図書館だより、支援学校への訪問など広報が進んだ。

目標3 未来につながる図書館

重点事業 利用者のニーズに応じた新しい図書館づくり

- 1 新深沢図書館の機能の実現に向けた調整  
(3) 多様なニーズに応えられる空間の設定（ゾーニング）を検討します。
- 2 新中央図書館の機能の検討と計画への反映  
(3) 多様なニーズに応えられる空間の設定（ゾーニング）を検討します。

【成果】新深沢図書館について、図書館として必要な機能の要望を協議して言整理、まとめて担当部署へ提出した。

令和7年度（2025年度）第4次鎌倉市図書館サービス計画の重点事業内容

目標1 利用者にとって魅力ある図書館

重点事業 市民や鎌倉に関わる人にとって魅力ある蔵書づくり

- 1 鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築の検討
  - (1)現在の蔵書構成及び出版状況を比較分析し、鎌倉市にふさわしい蔵書構築を検討します。
- 2 資料と利用者のニーズを熟知した職員の育成
  - (3) 資料と利用者のニーズを熟知した職員が継続してサービスを提供できるよう、必要な職員が配置される体制作りを目指します。

目標2 誰もが使いやすい図書館

重点事業 図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

- 1 一人ひとりに合わせた資料の提供とその周知
  - (1)大活字本、朗読 CD、デージー図書、LLブック、マルチメディアデージー等の充実と利用促進をはかります。
  - (2)多言語資料の収集に努めます。

目標3 未来につながる図書館

重点事業 利用者のニーズに応じた新しい図書館づくり

- 1 新深沢図書館の機能の実現に向けた調整
  - (1)学校との連携、子ども読書活動支援の拠点機能を維持します。
  - (5)深沢地域の特色ある資料の収集・保存・活用を継続します。
- 2 新中央図書館の機能の検討と計画への反映
  - (3)多様なニーズに応えられる空間の設定（ゾーニング）を検討します。

鎌倉市図書館サービス計画及び鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定について（鎌倉市中央図書館）

中央図書館では、令和7年度末をもって計画期間が満了となる鎌倉市図書館サービス計画及び鎌倉市子ども読書活動推進計画について、次期計画の策定作業を進めています。次期計画は、「鎌倉市教育大綱」「図書館ビジョン」を踏まえ、教育委員会内の他の計画と同様に「鎌倉市教育振興基本計画」の重点施策の中の政策の柱として包含して策定する予定です。更に、「鎌倉市教育振興基本計画」と連動するアクションプランを策定し、効率的な計画の推進を図ります。

	鎌倉市図書館サービス計画	鎌倉市子ども読書活動推進計画
現行計画	第4次鎌倉市図書館サービス計画 令和5年度（2023年度） ～令和7年度（2025年度）	第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画 令和5年度（2023年度） ～令和7年度（2025年度）
次期計画	令和8年度（2026年度）～令和11年度（2029年度） 鎌倉市教育大綱に基づく鎌倉市教育振興基本計画に内包される予定であるため、計画期間は教育大綱と一致させる見込みです。	
計画の目的	図書館ビジョンの実現に向け、3本の柱を重点に図書館サービスの向上を目指します。	継続的に家庭・地域・学校・行政が連携し、鎌倉市の子どもたちの豊かな読書環境を整備します。
計画の柱	<b>1 読書バリアフリーサービスの充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館を利用しづらい人へのサービスの周知に努めます。</li> <li>アクセシブルな資料の充実に努めます。</li> <li>当事者のニーズを把握し、それぞれに合わせたサービスの拡充に努めます。</li> <li>誰にでも使いやすい図書館づくりに努めます。</li> <li>読書バリアフリーサービスに精通した人材の育成に努めます。</li> </ul>	<b>1 読書バリアフリー環境の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー図書の所蔵を拡充していき、展示などを通して、広く知ってもらう取組を行います。</li> <li>「バリアフリー図書パック」を作成し、学校等へ貸し出します。</li> <li>バリアフリーおはなし会を実施します（手話付きおはなし会や世界のおはなし会など）。</li> <li>電子書籍の導入を検討します。</li> </ul>
	<b>2 知識や情報のハブとなる図書館サービス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズに合った蔵書を充実させ、生涯学習や日々の暮らしを支えます。</li> <li>電子書籍等、それぞれの立場から使いやすいデジタル環境の整備を検討します。</li> <li>まちの記憶の保存庫として過去と現在の情報を収集、保存、発信します。</li> <li>司書職の継続的な採用を目指し、人と情報を結ぶ人材を育成します。</li> </ul>	<b>2 情報活用のスキルの向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙とデジタルを併用した学習を研究します。</li> <li>子どもの居場所となる施設のWi-Fi環境を充実するよう取り組みます。</li> <li>子どもたち自身が様々な媒体を使って、自律的な学習ができるようサポートしていきます。</li> </ul>
	<b>3 鎌倉の魅力を集積し発信する図書館へ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新深沢図書館の必要な機能の実現に向けて関係部署と協力し尽力します。</li> <li>新中央図書館に向けて必要な機能をまとめ調整します。</li> <li>現在の中央図書館及び地域館が、利用者にとって安全で快適に利用できるよう努めます。</li> </ul>	<b>3 子どもに関わる施設や団体と連携した読書活動支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>中高生が読書に関する情報を自ら発信する場づくりやイベントを開催します。</li> <li>学校図書館の蔵書を充実し、利用しやすい学校図書館を作ります。</li> <li>学校図書館との連携や司書教諭、学校司書との合同研修を実施します。</li> <li>図書館を利用しづらい子どもたちのニーズにあわせたサービスを提供します。</li> </ul>
		<b>4 新しい図書館の整備に向けた施設・サービスの検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの意見も取り入れた居場所としての図書館を作ります。</li> <li>新庁舎への図書館複合化において、個々のニーズに応えるゾーニングを検討していきます。</li> </ul>

令和7年度第1回図書館協議会 資料5

<p>現在策定に向け行っている取組み</p>	<p>鎌倉市図書館協議会へ諮問しています。</p>	<p>子どもの読書活動の推進に関わる乳幼児教育、学校教育及び関係行政機関の関係者並びに市民からなる連絡会議での意見聴取を行っています。</p>
	<p>アンケートの実施（令和6年11月～12月）「こんな図書館あったらいいな」アンケート用紙を作成するとともに、電子申請での回答もできるようにしました。現在、結果を分析中です。</p>	<p>計画期間中、未就学児の保護者、鎌倉市内の学校、子ども関連施設へ毎年アンケートを実施し、読書環境を定点観測しています。</p>

鎌倉市図書館サービス計画及び鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定について（鎌倉市中央図書館）

中央図書館では、令和7年度末をもって計画期間が満了となる鎌倉市図書館サービス計画及び鎌倉市子ども読書活動推進計画について、次期計画の策定作業を進めています。次期計画は、「鎌倉市教育大綱」「図書館ビジョン」を踏まえ、教育委員会内の他の計画と同様に「鎌倉市教育振興基本計画」の重点施策の中の政策の柱として包含して策定する予定です。更に、「鎌倉市教育振興基本計画」と連動するアクションプランを策定し、効率的な計画の推進を図ります。

	鎌倉市図書館サービス計画	鎌倉市子ども読書活動推進計画
現行計画	第4次鎌倉市図書館サービス計画 令和5年度（2023年度） ～令和7年度（2025年度）	第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画 令和5年度（2023年度） ～令和7年度（2025年度）
次期計画	令和8年度（2026年度）～令和11年度（2029年度） 鎌倉市教育大綱に基づく鎌倉市教育振興基本計画に内包される予定であるため、計画期間は教育大綱と一致させる見込みです。	
計画の目的	図書館ビジョンの実現に向け、3本の柱を重点に図書館サービスの向上を目指します。	継続的に家庭・地域・学校・行政が連携し、鎌倉市の子どもたちの豊かな読書環境を整備します。
計画の柱	<b>1 読書バリアフリーサービスの充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館を利用しづらい人へのサービスの周知に努めます。</li> <li>アクセシブルな資料の充実に努めます。</li> <li>当事者のニーズを把握し、それぞれに合わせたサービスの拡充に努めます。</li> <li>誰にでも使いやすい図書館づくりに努めます。</li> <li>読書バリアフリーサービスに精通した人材の育成に努めます。</li> </ul>	<b>1 読書バリアフリー環境の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー図書の所蔵を拡充していき、展示などを通して、広く知ってもらう取組を行います。</li> <li>「バリアフリー図書パック」を作成し、学校等へ貸し出します。</li> <li>バリアフリーおはなし会を実施します（手話付きおはなし会や世界のおはなし会など）。</li> <li>電子書籍の導入を検討します。</li> </ul>
	<b>2 知識や情報のハブとなる図書館サービス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズに合った蔵書を充実させ、生涯学習や日々の暮らしを支えます。</li> <li>電子書籍等、それぞれの立場から使いやすいデジタル環境の整備を検討します。</li> <li>まちの記憶の保存庫として過去と現在の情報を収集、保存、発信します。</li> <li>司書職の継続的な採用を目指し、人と情報を結ぶ人材を育成します。</li> </ul>	<b>2 情報活用のスキルの向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙とデジタルを併用した学習を研究します。</li> <li>子どもの居場所となる施設のWi-Fi環境を充実するよう取り組みます。</li> <li>子どもたち自身が様々な媒体を使って、自律的な学習ができるようサポートしていきます。</li> </ul>
	<b>3 鎌倉の魅力を集積し発信する図書館へ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新深沢図書館の必要な機能の実現に向けて関係部署と協力し尽力します。</li> <li>新中央図書館に向けて必要な機能をまとめ調整します。</li> <li>現在の中央図書館及び地域館が、利用者にとって安全で快適に利用できるよう努めます。</li> </ul>	<b>3 子どもに関わる施設や団体と連携した読書活動支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>中高生が読書に関する情報を自ら発信する場づくりやイベントを開催します。</li> <li>学校図書館の蔵書を充実し、利用しやすい学校図書館を作ります。</li> <li>学校図書館との連携や司書教諭、学校司書との合同研修を実施します。</li> <li>図書館を利用しづらい子どもたちのニーズにあわせたサービスを提供します。</li> </ul>
		<b>4 新しい図書館の整備に向けた施設・サービスの検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの意見も取り入れた居場所としての図書館を作ります。</li> <li>新庁舎への図書館複合化において、個々のニーズに応えるゾーニングを検討していきます。</li> </ul>

令和7年度第1回図書館協議会 資料5

<p>現在策定に向け行っている取組み</p>	<p>鎌倉市図書館協議会へ諮問しています。</p>	<p>子どもの読書活動の推進に関わる乳幼児教育、学校教育及び関係行政機関の関係者並びに市民からなる連絡会議での意見聴取を行っています。</p>
	<p>アンケートの実施（令和6年11月～12月）「こんな図書館あったらいいな」アンケート用紙を作成するとともに、電子申請での回答もできるようにしました。現在、結果を分析中です。</p>	<p>計画期間中、未就学児の保護者、鎌倉市内の学校、子ども関連施設へ毎年アンケートを実施し、読書環境を定点観測しています。</p>

## 鎌倉市図書館 基本統計表 令和6年度(2024年度) 利用統計

	中央	腰越	深沢	大船	玉縄	(WEB)	全館	2023年度	前年度比	
開館日	294	296	296	296	296	357	1,478	1,523	-45	
登録者	①総数	24,442	8,793	10,174	15,871	9,424	68,704	65,114	3,590	
	②うち市内在住者	21,517	7,849	9,616	13,632	8,435	61,049	57,968	3,081	
	①のうち年度内利用	8,311	2,930	3,703	5,453	3,303	23,700	24,235	-535	
	②のうち年度内利用	7,604	2,640	3,509	4,891	2,991	21,635	21,975	-340	
新規登録者	1,259	400	415	769	388		3,231	3,318	-87	
来館者	173,055	106,104	117,790	153,001	98,325		648,275	656,574	-8,299	
(貸出利用人数)	114,397	56,178	67,827	96,216	59,455		394,073	404,949	-10,876	
貸出 (更新含)	図書	316,192	176,840	213,728	278,911	195,974	1,181,645	1,220,042	-38,397	
	雑誌	13,390	11,044	8,275	11,497	6,148	50,354	53,395	-3,041	
	AV	9,541	2,907	3,121	4,492	3,124	23,185	24,903	-1,718	
	貸出合計	339,123	190,791	225,124	294,900	205,246	1,255,184	1,298,340	-43,156	
予約受付	窓口	18,207	10,728	8,813	12,855	10,276	60,879	63,444	-2,565	
	各館OPAC	9,533	3,046	2,929	4,518	3,324	23,350	25,426	-2,076	
	WEB						275,765	275,765	298,111	-22,346
	スマホ						50,183	50,183	41,701	8,482
	予約受付合計	27,740	13,774	11,742	17,373	13,600	325,948	410,177	428,682	-18,505
WEB、OPACリクエスト						22,044	22,044	22,568	-524	
レファレンス受付	20,218	13,020	12,259	18,060	12,394	(内OPAC 46)	75,951	79,107	-3,156	
文献複写枚数	26,740	1,980	4,916	2,822	1,946		38,404	45,201	-6,797	
相互貸借	借受	4,465	1,444	2,027	2,776	1,844	12,556	12,793	-237	
	貸出 (女子大・県外中央一 括、県内玉縄一括)	27	0	0	0	5,859	5,886	6,635	-749	

## 【令和5年度(2023年度)との比較 特記事項】

- \* 令和7年(2025年)2月に図書館情報システム更新のため全館休館したことから、開館日が減少した。  
その影響から、多くの項目で前年度より数値が下がったが、一日あたりに換算すると前年度と遜色ない。
- \* 長期にわたって利用のない登録者の長期未利用者への移行を行わなかったため、登録者は増加した。
- \* 長期未利用からの復活や利用終了等があるため、令和5年度末登録者数+6年度新規登録者=6年度末登録者数とはならない。
- \* 図書館の移転を見据え蔵書の整理を進めているため、除籍数が増加した。  
受入点数は前年度比-148点だが、除籍数が2,197点増加したため、全体の蔵書数が2,779点減少した。
- \* 除籍からの復活や移管があるため、令和5年度末蔵書数+6年度受入数-6年度除籍数=6年度末蔵書数とはならない。

## 鎌倉市図書館 基本統計表 令和6年度(2024年度) 蔵書統計

		中央	腰越	深沢	大船	玉縄	学校貸出	近代史	全館	2023年度
購入	図書(一般)	1,696	1,130	1,064	1,305	1,489	0	0	6,684	6,859
	図書(児童)	566	646	633	595	690	167	0	3,297	3,108
	図書(参考)	143	10	29	12	9	0	0	203	234
	図書(郷土)	103	3	1	2	1	0	5	115	108
	図書計	2,508	1,789	1,727	1,914	2,189	167	5	10,299	10,309
	雑誌	1,503	995	809	806	695	0	0	4,808	4,970
	AV	6	7	3	7	3	0	0	26	16
	購入計	4,017	2,791	2,539	2,727	2,887	167	5	15,133	15,295
寄贈 その他	図書(一般)	2,266	1,139	1,146	1,203	1,088	0	0	6,842	6,319
	図書(児童)	608	172	424	424	383	5	0	2,016	2,356
	図書(参考)	48	0	2	0	0	0	0	50	33
	図書(郷土)	357	55	38	14	75	0	2	541	624
	図書計	3,279	1,366	1,610	1,641	1,546	5	2	9,449	9,332
	雑誌	313	142	82	59	98	0	0	694	742
	AV	154	33	36	43	56	0	0	322	377
	寄贈計	3,746	1,541	1,728	1,743	1,700	5	2	10,465	10,451
受入計	図書	5,787	3,155	3,337	3,555	3,735	172	7	19,748	19,641
	雑誌	1,816	1,137	891	865	793	0	0	5,502	5,712
	AV	160	40	39	50	59	0	0	348	393
	受入計	7,763	4,332	4,267	4,470	4,587	172	7	25,598	25,746
除籍	図書	7,335	4,351	3,600	4,428	2,552	175	5	22,446	20,976
	雑誌	1,622	1,045	864	876	720	0	0	5,127	5,043
	AV	1,339	73	31	66	70	0	0	1,579	936
	除籍計	10,296	5,469	4,495	5,370	3,342	175	5	29,152	26,955
蔵書数 (2025.3.31)	図書	267,322	67,483	88,798	60,694	71,084	9,874	674	565,929	567,667
	雑誌	3,257	41,324	2,033	1,640	1,567	0	0	49,821	49,450
	AV	12,547	1,169	1,126	1,683	1,285	0	0	17,810	19,134
	和漢籍	128	0	0	0	0	0	3,569	3,697	3,785
	蔵書計	283,254	109,976	91,957	64,017	73,936	9,874	4,243	637,257	640,036
蔵書数 (2024.3.31)	図書	267,450	68,741	89,160	61,667	70,103	9,878	668	567,667	
	雑誌	3,293	40,904	2,035	1,681	1,537	0	0	49,450	
	AV	13,720	1,303	1,118	1,697	1,296	0	0	19,134	
	和漢籍	124	0	0	0	0	0	3,661	3,785	
	蔵書計	284,587	110,948	92,313	65,045	72,936	9,878	4,329	640,036	
年度増減	図書	-128	-1,258	-362	-973	981	-4	6	-1,738	1,580
	雑誌	-36	420	-2	-41	30	0	0	371	538
	AV	-1,173	-134	8	-14	-11	0	0	-1,324	56
	和漢籍	4	0	0	0	0	0	-92	-88	1
	蔵書計	-1,333	-972	-356	-1,028	1,000	-4	-86	-2,779	2,175

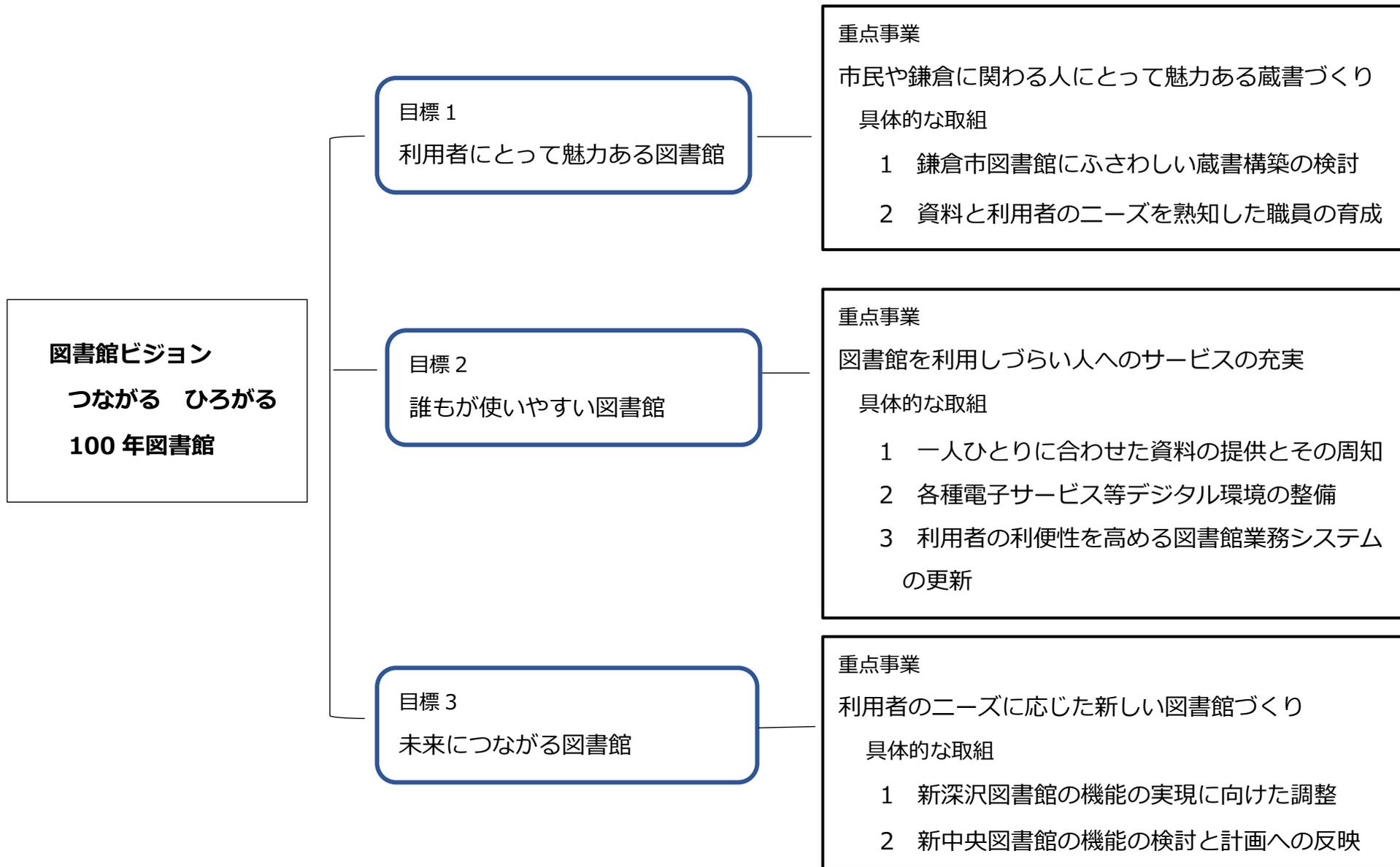
令和6年度(2024年度) 雑誌・新聞タイトル数実績

全館計で比較

	中央	腰越	深沢	大船	玉縄	全館計	純タイトル数	2023年度	前年度比
雑誌数(うち購入)	167(135)	80(68)	69(63)	69(62)	76(67)	461(395)	297(257)	479(403)	-18(-8)
新聞数(うち購入)	40(11)	21(9)	23(10)	23(9)	24(9)	131(48)	53(19)	145(50)	-14(-2)

## 第4次鎌倉市図書館サービス計画年次評価表

- ・統計は令和6年（2024年）年12月末日時点の仮数字になります。年度末に改めて数字を集計する予定です。
- ・表中 A：達成、実施 B：現状維持 C：未達成、未実施 となります。



## 令和6年度重点事業

### 目標1 利用者にとって魅力ある図書館

#### 【重点事業】市民や鎌倉にかかわる人にとって魅力ある蔵書づくり

#### 1 鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築の検討

#### 取組1 現在の蔵書構成及び出版状況を比較分析し、鎌倉市にふさわしい蔵書構築を検討します。

	平成30年度 (2018年度)	令和5年 (2023年4～12月)	令和5年度 (2023年度確定値)	令和6年 (2024年1～12月)	令和7年度 (2025年度)	
指標項目	現状	実績	実績	実績	目標	
年間貸出点数	1,326,000	970,393 前年度12月末 1,000,048)	1,298,340	1,288,503	1,400,000	<b>B</b>
蔵書回転率	2.4	1.6	2.0	2.0	2.5	
蔵書新鮮度	0.04	0.03	0.04	0.04	0.04	
蔵書更新率	0.09	0.07	0.08	0.08	0.09	
市民1人当たり貸出点数	7.5	5.6	7.1	7.6	8.1	
リクエスト資料の提供数		283,332	375,591	369,743		

#### 【協議会委員意見】

- ・貸出はコロナ前（2018年）の数値に戻ってきている。他館は来館者・貸出共にコロナ改善の水準に戻ってきていないところが多いので、鎌倉市図書館の貸出点数はB評価となっているが、私個人としては大いに評価できる数値である。
- ・資料費が厳しい事情もあるが、蔵書新鮮度や蔵書更新率は低い数値の改善も来年度以降は期待したい。
- ・蔵書回転率、蔵書新鮮度、蔵書更新率ともに維持されていることが評価できる。リクエスト資料の提供数は微減しているが、「リクエスト実現率（提供数対リクエスト件数）」示していただくと、実態の評価をより正確に獲得することができ、図書館サービスのさらなる向上にも役立つかと思う。

令和 6 年度重点事業

	平成 30 年度 (2018 年度)	令和 5 年 (2023 年)	令和 6 年 (2024 年)		令和 7 年度 (2025 年度)
指標項目	現状	実績	実績	自己評価	目標
郷土資料受入数		644	947	順調に収集が進んでいると思われる。	
資料に対する満足度評点/量/大人(来館)	3.16				A
資料に対する満足度評点/量/大人(市民)	2.87				
資料に対する満足度評点/量/子ども(来館)	3.91				
資料に対する満足度評点/量/子ども(市民)	4.08				
資料に対する満足度評点/種類/大人(来館)	3.29				
資料に対する満足度評点/種類/大人(市民)	2.95				
資料に対する満足度評点/種類/子ども(来館)	3.65				
資料に対する満足度評点/種類/子ども(市民)	3.33				

【協議会委員意見】

- ・「郷土資料受入数」は前年度から 300 点以上の増加であり、収集努力の結果であると感じる。
  - ・本資料の「満足度」は郷土資料に対する満足度と理解しましたがよろしいか。令和 5・6 年度の満足度評点がないのは、満足度調査を行っていないと理解しましたがよろしいか。
- 図書館：この満足度評点は第 4 次サービス計画作成時に行った図書館サービス全体のアンケートのものです。次の図書館サービス計画作成時のアンケート結果と比較する予定です。

令和6年度重点事業

	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)	
評価項目	実績	実績	自己評価
出版状況の分析を行ったか	分野別新刊点数構成比を確認	実施済み	<p>9門と実用書に次いで購入が多いのは49の医学分野、36の社会学分野、33の金融分野、29の地理・地誌分野となる。</p> <p>一方で蔵書回転率が高いのは、実用書、文学、倫理・道徳、心理学、情報科学、フランス語の順になる。15は159の自己啓発の資料、14は147の超心理学の利用が多いか。情報科学の本をもう少し強化する必要があるかもしれない。</p>
年間出版数をどれだけカバーしているか	未実施	令和2~4年度の平均カバー率16.4%	
現在の蔵書分析を行ったか	実施	実施済み	
近隣都市との比較を行ったか	実施	実施済み	
リクエスト傾向の分析を行ったか	実施	実施済み	
購入資料の傾向分析を行ったか	未実施	実施済み	
蔵書回転率の高い分野の分析を行ったか	未実施	実施済み	

A

令和6年度重点事業

十分類	貸出回数	蔵書数	蔵書回転率		100分類	蔵書回転率
0	14,697	25,871	0.57		情報科学(00)	3
1	44,326	42,971	1.03		心理学(14)	3.1
2	80,821	56,252	1.44		倫理学・道徳・自己啓発(15)	3.5
3	86,706	61,601	1.41			
4	80,349	33,490	2.40		医学・薬学(49)	2.7
5	94,187	28,817	3.27		実用書(59)	5.3
6	22,750	12,881	1.77			
7	52,255	41,349	1.26			
8	12,511	7,550	1.66		フランス語(85)	3
9	454,846	202,711	2.24		文学・文庫(91)	3.5

## 令和 6 年度重点事業

### 【協議会委員意見】

- ・全ての項目を実施していることが評価できる。さらに、年間出版数のカバー率が示されているが、参考となるベンチマーク図書館（例・第 4 次鎌倉市図書館サービス計画に示されている小山市、浦安市、）の数値との比較も必要と考える。
- ・自己評価のところで「9 門と実用書に次いで購入が多いのは～」という記述がある。次のページの蔵書回転率で実用書（59）となっているので、実用書は 59 を指していると読めてしまう。一般市民にもわかるよう、「文学と実用書に次いで多いのは、～」 「家政学・生活科学（59）」あるいは「料理・育児（59）としてはいかがか。
- ・蔵書回転率の高い分野が挙げられており、利用分析がしっかり行われている。
- ・個人的には情報科学やフランス語が蔵書が少ないこともあるのかもしれないが回転率が高いのは興味深かった。情報科学は生成 AI などにトレンドの資料なのか、それとも Word の使い方などの実用書に近いのが多いのか知りたい。同じく 8 類でフランス語が回転率が高い要因も知りたい。
- ・利用者のニーズに沿うことも重要であるが、一方で図書館はすべての市民に対して情報提供をするので、人気のある資料ばかりではなく網羅的に資料を収集することも留意しつつ選書に役立ててほしい。

令和6年度重点事業

目標1 利用者にとって魅力ある図書館

【重点事業】市民や鎌倉にかかわる人にとって魅力ある蔵書づくり

2 資料と利用者のニーズを熟知した職員の育成

取組1 長期的展望に沿った研修計画を策定して、知識やスキルの継承ができるよう、職員の育成を図ります。

指標項目	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)		
	実績	実績	自己評価	
レファレンス記録件数	99	113	レファレンスの記録件数が増えているのに、レファレンス協同データベースに登録する件数が減っているのは、記録の精度の違いのため。あとから第三者が読んでもわかる記録を残すように心がけたい。	A
レファレンス協同データベース新規登録件数	63	52		
参考資料増加点数	187	268		

評価項目	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)		
	実績	実績	自己評価	
研修計画の策定状況	短期的な研修計画は作成中であるが、長期的な計画は検討中。	対外的な計画ではなく、職員が職歴ごとに必要な研修を把握できる計画を作成し、共有した。	これから活用を進める中で、必要に応じて修正し、職員の成長につながる実効性のある計画にしていきたいと考えている。	A

令和6年度重点事業

目標2 誰もが使いやすい図書館

【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

1 一人一人に合わせた資料の提供とその周知

取組4 有料宅配サービスを始めとする図書館の様々なサービスを周知できるよう広報を強化します。

指標項目	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)	
	実績	実績	自己評価
有料宅配サービス利用数	貸出 11人 62点、 返却 11人 52点	貸出 11人 54点 返却 25人 86点	<p>公益財団法人 文字・活字文化推進機構から読書バリアフリー図書体験キットを借用し、読書バリアフリー図書の展示を玉縄図書館や深沢図書館で行った。</p> <p>地下道ギャラリーや図書館だよりで、読書バリアフリー図書や障害者サービスについて紹介をPRした。</p> <p>当事者団体、市役所の他課、地域館で制度を紹介された方が障害者サービスに新規登録されており、PRの成果かと考える。</p> <p>鎌倉支援学校や小さき花の園、障害児活動支援センターへニーズ調査をしに訪問し、制度等の紹介をした。</p> <p>マルチメディアデジ図書を施設へ貸出した。鎌倉支援学校の児童の制作物を全館で展示へつながった。</p>
図書館だより発行数	No.141・No.142 発行 No.143 発行予定	No.143～No.145 発行 No.146 発行予定	
ホームページ閲覧数	全体数のみカウント可 1,100,962→1,462,200 (1～12月)	1～12月 1,463,573 微増	
障害者サービス登録者数	81	80	
どのような広報をおこなったか	『福祉の手引き』掲載 鎌倉市図書館ホームページ掲載 5月 児童福祉週間の展示 9月 認知症啓発展示 12月 障害者週間の展示 障害者サービスについてのちらし発行	『福祉の手引き』掲載、鎌倉市図書館ホームページ掲載、図書館だよりでの掲載、障害者サービス登録のちらし発行。 5月 児童福祉週間の展示 6月 読書バリアフリー図書の展示（「読書バリアフリー体験セット」） 7月 地下道ギャラリーでの展示 9月 認知症啓発展示、	

A

## 令和6年度重点事業

		<p>12月 障害者週間の展示（鎌倉支援学校の児童の作品）を行った。</p> <p>また以下のとき、障害者サービスを直接、広報した。鎌倉市子ども読書活動推進計画における連絡会議、障害児の通学や入院施設等へ訪問時（3施設）、小学校の福祉に関する総合学習、小学生の図書館見学、中学生の職場体験等。</p>		
--	--	--	--	--

### 【協議会委員意見】

- ・市内におけるサービス対象者数が不明であるため、図書館サービス登録者についてはどこまでリーチできているかというところで評価が難しくなるが、点字や施設訪問における制度紹介など、PR活動は適切になされていると思われる。
- ・「どのような広報を行ったか」「自己評価」欄からは、きめ細かく地道な広報強化の努力が伝わり大変すばらしい。教育機関や施設でのニーズ調査を含め、掛け声だけではない実直な内容であったことも伺われる。一方で欲を申し上げると、広報ツールが（図書館に感心・用事のある人しか見ない）図書館ホームページや図書館だより、福祉に関心・関係のある人しか見ない「福祉の手引き」等が中心となっているが、さらに広く活用できる可能性があるように思う。多様な市民が通行する地下道ギャラリーでの展示も実施しているが、展示を見るために通り、立ち止まる場所ではなく、効率的に通過するための場所であるため、残念ながら広報効果は大きくない場所である。鎌倉市図書館は「鎌倉市のバリアフリーを力強く推進する・バリアフリーのあり方を示す」くらいの影響力を持ちうる・期待ができる存在だと考える。難しいリクエストであると自覚しつつも、図書館に来ない人の目にも入り、バリアフリー意識をさらに高め、そして図書館の力と価値があらためて認知されるようなそのような発信を期待したい。

## 令和6年度重点事業

### 目標2 誰もが使いやすい図書館

#### 【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

#### 2 各種電子サービス等デジタル環境の整備

#### 取組1 タブレットの貸出やWi-Fiの設置など、館内のICT環境の整備方法を検討します。

評価項目	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)		
	実績	実績	自己評価	
ICT環境整備に向けて何を行ったか	令和6年度(2024年度)に各館にWi-Fiを導入することを検討し、館内環境の調査、見積もりを取得した。予算に限りがあり、令和6年度予算要求は中央図書館のみにとどまった	令和6年(2024年)6月に中央図書館でWi-Fi環境を整備し、利用者向けサービス提供開始した。 Wi-Fiを利用したリモートワーク、学習利用が増加し、PC優先席を増設した。 利用者からも地域館での展開に関する要望が出ているが、令和7年度予算化は実現できなかった。	中央図書館では若い年代の利用者層が増加した。長年、要望が多かったWi-Fiを導入できたことの効果は大きかったと考える。多目的室でも利用可能なため、講座や講演会などでも活用することができるようになった。地域館への導入は、行政センター全体での調整も必要になることから、今後の施設整備の中で検討していくこととなると捉えている。	<b>A</b>

#### 【協議会委員意見】

- ・Wi-Fiが中央図書館に導入され、市民の利便性が向上した。地域館でも導入が推進されることが望ましいと思われる。

令和6年度重点事業

3 利用者の利便性を高める図書館業務システムの更新

取組1 令和6年度（2024年度）に新図書館機能を視野に入れて図書館業務システムを更新し、利便性の向上を図ります。

	令和5年（2023年）	令和6年（2024年）		
評価項目	実績	実績	自己評価	
図書館業務システムの更新内容	<p>令和6年度のシステム更新に向けカスタマイズ内容の洗い出し、要件を整理中。</p> <p>検討中の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>館内の検索機を、子どもやパソコンに不慣れな方でも分かりやすいような画面構成も選べるようにする。</li> <li>スマートフォンにログインすることで貸出カードを表示させ、貸出できるようにする。</li> <li>延滞日数に応じた新規予約受付の停止を実装する。</li> <li>督促メールにタイトル等書誌事項を記載する。</li> </ul>	<p>保守の範囲内で可能な改修を行いつつ、令和7年（2025年）2月26日から稼働する新システムに向け、要件の洗い出しと構築を行った。</p> <p>検討中の内容についてはすべて搭載することとなった。</p>	<p>令和2年（2020年）に導入したシステムで課題となった大きな点は次期システムで解決する見込みとなった。</p>	<b>A</b>

令和6年度重点事業

目標3 未来につながる図書館

【重点事業】利用者のニーズに応じた新しい図書館づくり

取組3 多様なニーズに応えられる空間の設定（ゾーニング）を検討します。

1 新深沢図書館の機能の実現に向けた調整

- (1) 学校との連携、子ども読書活動支援の拠点機能を維持します。
- (2) 市役所と中央図書館及び他の地域館をつなぐ役割を果たします。
- (4) 議会図書室や総務課行政資料コーナーと連携して市民への資料提供に努めます。
- (5) 深沢地域の特色ある資料の収集・保存・活用を継続します。"

評価項目	令和5年（2023年）	令和6年（2024年）		
	実績	実績	自己評価	
どのような調整を行ったか	令和5年度は主に新中央図書館機能の調整を行ったため、新深沢図書館の調整については情報収集を中心に行った。	・新深沢図書館の機能および必要面積について協議、図書館の要望を提出。	図書館として必要な機能の要望を協議して整理、まとめて担当部署へ提出した。今後は実現に向けて働きかけていきたい。	<b>A</b>

令和6年度重点事業

2 新中央図書館の機能の検討と計画への反映

取組3 多様なニーズに応えられる空間の設定（ゾーニング）を検討します。

- (1) 鎌倉市図書館全体のネットワークを統括する拠点館としての役割をはたします。
- (2) 鎌倉の歴史と文化を次の世代につなぐ郷土資料の拠点館とします。
- (4) 「鎌倉市にふさわしい博物館基本構想」におけるサテライトとしての図書館資料の更なる充実をはかります。
- (5) 鎌倉市図書館全体の資料保存庫としての役割をはたします

評価項目	令和5年（2023年）	令和6年（2024年）		
	実績	実績	自己評価	
どのような調整を行ったか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンデー「ONE DAY PLAY PARK」参加</li> <li>・新中央図書館の必要面積検討</li> <li>・「皆さんのアイデアをお聞かせください」（鎌倉市図書館整備に向けた意見交換会） 9月29日／10月8日／10月17日</li> </ul>	情報収集	令和6年度は主に新深沢図書館機能の調整を行ったため、新中央図書館の調整については情報収集を中心に行った。	<b>B</b>

【協議会意見無し】

目標 1 利用者にとって魅力ある図書館

【重点事業】 市民や鎌倉に関わる人にとって魅力ある蔵書づくり

1 鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築の検討

取組 2 議会図書室や総務課行政資料コーナーと連携しながら、行政資料の網羅的収集を実現します。

	令和 5 年（2023 年）		令和 6 年（2024 年）		
指標項目	実績	自己評価	実績	自己評価	
行政資料のタイトル数				何を行政資料とするかでタイトル数が変わってくる。またコンピュータ上で行政資料を抽出できないため、正確な数がわからない。項目としてふさわしくないため、ほかの方法を考えたい。	C
評価項目	実績	自己評価	実績	自己評価	
電子資料の保存法検討	資料保存をした際、電子資料を公開している場合は、URL 先をリンク先として保存し、利用者の利便性を図った。ただ、リンク先の URL が変わる場合がある。	電子資料でしか公開していない行政資料がある。各課へ行政資料の収集への協力を依頼する際、紙で印刷した資料を納品してほしい旨を呼びかけていく。	電子資料へのリンクを積極的に進めるとともにリンク切れのチェックを定期的に行った。 新システム更新に向け、電子資料を探しやすくなるよう、ホームページを構築した。	利用者の利便性の向上につとめた。	A

#### 【協議会委員意見】

- ・ 指標項目「行政資料のタイトル数」の自己評価欄に「何を行政資料とするかでタイトル数が変わってくる。またコンピュータ上で行政資料を抽出できないため、正確な数がわからない。項目としてふさわしくないため、ほかの方法を考えたい。」と記載があるが、収集対象を特定できないのであれば、網羅的収集がなされているか否かの評価は難しい。何を行政資料とするかという点について、指針の検討を重ねていただき、そのうえで行政資料データがコンピュータで抽出できるよう、多言語資料同様、システム機能のカスタマイズが開発要望を検討されることが望ましいと考える。
- ・ 行政資料のタイトル数は評価がCとなっており、改善又は対策の検討が進められると良いと考える。会議では、行政資料の分類（行政資料・参考資料・郷土資料）が人によって異なることがタイトル数の変化に影響すると伺った。行政資料の網羅的収集は、労力・調整力も必要だが、大変重要な図書館業務の一つであるため、必要な時間や人員配分についても考慮されることで、より良い進捗が期待できるのではないかと思う。
- ・ まずは鎌倉市図書館として何を持って行政資料とみなすかの定義を作成されたいかがか。

「鎌倉市行政資料の集中管理に関する規定」<https://x.gd/nF5vI>（鎌倉市例規集）

『第2条 この規定において資料とは、行政上の必要により作成し、又は入手した印刷物、刊行物等で、市民の利用に供することを目的とするものをいう。』

第3条 各課長等は、その所掌事務について、資料を作成し、又は入手したときは、毎月分をまとめて、翌月5日までに当該資料又はその副本もしくは写しを添えて行政資料報告書を資料の集中管理を主管する課長（以下「主管課長」という。）に提出しなければならない。』

上記資料の中央館への納本制度を作るなどできたらよい。

## 目標 1 利用者にとって魅力ある図書館

### 【重点事業】市民や鎌倉にかかわる人にとって魅力ある蔵書づくり

#### 1 鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築の検討

#### 取組 3 図書館振興基金の活用を図りながら、鎌倉に関する貴重な資料の収集や、それらを補修し、大切に保存、提供していきます。

評価項目	令和 5 年 (2023 年)	令和 6 年 (2024 年)		A
	実績	実績	自己評価	
振興基金を利用して収集・補修・保存したもの	明治期以降写真アルバム整理保存 デジタル化 31 冊 古絵図鎌倉関係デジタル化 33 点 古絵図鎌倉周辺図デジタル化 31 点  年度内に完成納品予定	写真・映像フィルム等資料劣化防止対策 事業 内容：フィルム劣化対策剤（酢酸ガス吸 着剤）購入と投与／保存容器（中性紙封 筒）購入と資料入替	酢酸ガス吸着剤の投与と通気性や除湿に配慮 した保存環境を整えることで、貴重な資料か ら、今後の急激な劣化を防ぐ手立てとなっ た。	

#### 【協議会委員意見】

- ・効果的な進捗があった旨、素晴らしい。

**目標 1 利用者にとって魅力ある図書館**

**【重点事業】 市民や鎌倉にかかわる人にとって魅力ある蔵書づくり**

**2 資料と利用者のニーズを熟知した職員の育成**

**取組 2 読書バリアフリー法など社会状況の変化に対応できる職員のスキルの向上に努めます。**

評価項目	令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）		
	実績	実績	自己評価	
実施・受講した研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書バリアフリーに関する書面研修を全職員対象に開催した。</li> <li>・認知症サポーター養成講座を全職員対象に開催し、職場として認知症に対する理解を深める機会を持った。</li> <li>・読書バリアフリーや社会状況の変化に関する外部研修の受講を促し、以下の研修を受講した。            国立国会図書館みなサーチ説明会、多文化対応力向上講座図書館編、図書館総合展フォーラム「UniLeafの活動について」、障害者サービス担当職員向け講座、読書バリアフリーをすすめるために、デジタルインクルージョン政策の動向と公共図書館の役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の研修を受講した。            令和6年度神奈川県内公共図書館等障害者サービス実務担当者会議の報告（プレクストークやサピエ図書館の研修）、            令和6年度 障害者サービス担当職員向け講座 2日間、            日本図書館協会による体験講座、鎌倉市役所主催の障害者差別解消法研修、特別研修「読書のバリアフリーをすすめるために」（公益財団法人伊藤忠記念財団主催）、2024年度障害者サービス担当職員養成講座（入門）（日本図書館協会主催）</li> </ul>	<p>引き続き積極的に研修の受講を進めることができた。</p>	<b>A</b>

**【協議会委員意見】**

・職員数が潤沢でない中、積極的に研修を受講して進化を志す様子がまず素晴らしいと感じます。ぜひ今後も継続し、職員皆さんのスキル向上につなげていただきたい。

## 目標 2 誰もが使いやすい図書館

### 【重点事業】 図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

#### 1 一人一人に合わせた資料の提供とその周知

#### 取組 3 やさしい日本語の利用案内や活字の大きな利用案内を作成します。

評価項目	令和 5 年 (2023 年)	令和 6 年 (2024 年)		
	実績	実績	自己評価	
利用案内の作成状況	情報収集及び検討中	<ul style="list-style-type: none"> <li>やさしい日本語の利用案内を各館入り口に掲示</li> <li>やさしい日本語の利用案内（リーフレット）の案を作成。</li> <li>図書館アンケートのとき、やさしい日本語版も作成。</li> <li>コミュニケーションボードの設置</li> </ul>	<p>海外にルーツがある人へ向けて、やさしい日本語の利用案内を全館に館内掲示をした。</p> <p>図書館アンケートでも、やさしい日本語版を作成し、アンケートを実施した。やさしい日本語の利用案内は案が作成できており、発行へつなげたい。</p> <p>コミュニケーションボードを全館のカウンターへ設置し、イラスト等でコミュニケーションをサポートできるようにした。</p>	A

#### 【協議会委員意見】

- やさしい日本語の活用が推進され、大変すばらしいと感じる。海外ルーツの方はこうした点に大変敏感なので、やさしい日本語の利用案内があることから図書館のインクルーシブな姿勢を感じ取り、図書館に行くハードルが下がり、心理的距離感が縮まり、多くの方によってより親しみやすい存在になっているのではないかと感じる。また子どもや知的障害のある方、高齢者にも優しい、素晴らしい取り組みが持続的に広がっていくことを期待する。
- 「やさしい日本語の利用案内」は館内掲示を行い、リーフレット発行も検討しているとのことであるがぜひ進めていただきたい。

目標 1 利用者にとって魅力ある図書館

【重点事業】 市民や鎌倉にかかわる人にとって魅力ある蔵書づくり

2 資料と利用者のニーズを熟知した職員の育成

取組 3 資料と利用者のニーズを熟知した職員が継続してサービスを提供できるよう、必要な職員が配置される体制作りを目指します。

指標項目	令和 5 年 (2023 年)		令和 6 年度	
	実績	実績	実績	自己評価
職員の平均年齢	48.1 歳	49.1 歳	新規採用はなかったが、事務職司書の異動もなかったため平均在籍年数は伸びた。	A
職員の平均図書館在籍年数	16.2 年	17.2 年		
職員数 (資料サービス担当)	18 人	18 人		
欠員数	1 人	1 人		
司書率	90%	90%		
受講研修内容	児童図書館員養成専門講座 読書バリアフリー関連の講習等を多数受講 (別紙参照)	図書館司書専門講座、日本図書館協会中堅職員ステップアップ研修や、読書バリアフリー関連の講習等を受講 (別紙参照)	研修の受講数は減ったが、各自、自分に必要な研修を自主的に受講する風土が出来つつある。	
研修講師実績	ボランティア養成講座や教職員対象の研修講師のほか、業務外で大学の司書課程の講師を 2 校で務めた。	昨年度の実績に加えて、日本図書館協会中堅職員ステップアップ研修、図書館司書専門講座、関東甲信越静地区別研修、神奈川県図書館協会、長野県図書館協会の研修で、講師を務めた。(別紙参照)	また、講師を務める機会が増えたことは、専門性が評価された証である。世代交代の時期ではあるが、今後も機会を捉えて継続していきたい。	

【協議会委員意見】

- ・「研修講師実績 2024」の一覧を拝見したところ、多様な講座、大学授業、研修会等の講師を努められており、鎌倉市図書館職員の方々の専門的知識や経験が社会に十分に共有されていると感じた。
- ・図書館職員の方が講師を務める機会の増加・専門性が評価されていることは大変すばらしく思う。図書館に期待される機能・役割がますます多様化している現状を踏まえ、新しい視野・視点の獲得のために専門分野以外の講習を受けることも新たな視野・視点を得る良い機会として積極的な取り組みを期待している。

【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

1 一人一人に合わせた資料の提供とその周知

取組 1 大活字本、朗読 CD、デイジー図書、LLブック、マルチメディアデイジー等の充実と利用促進を図ります。

指標項目	令和 5 年 (2023 年)	令和 6 年 (2024 年)	
	実績	実績	自己評価
大活字本所蔵点数	2,351	2,384	<p>大活字本貸し出し点数については訂正し、朗読 CD についてはコンピュータでの抽出ができず、昨年度の分も含めて削除する。</p> <p>大活字本や LLブックの PR の効果か利用は伸びている。</p> <p>マルチメディアデイジーは施設へ貸出が行えた。</p> <p>また、デイジー図書の貸出は利用者の録音再生機器が故障したり、他機関から利用するようになったため、利用が減少した。</p> <p>今年度から国立国会図書館から鎌倉市図書館が制作した音訳図書のダウンロードができるようになった。2075 件ダウンロードされている。</p>
大活字本貸出点数	1,757 2,495	2,959	
朗読 CD 所蔵点数	1,044(不明除く)		
朗読 CD 貸出点数	2,483		
デイジー図書所蔵点数	511	664	
デイジー図書貸出点数	87	66	
LLブック所蔵点数	141	155	
LLブック貸出点数	355	528	
マルチメディアデイジー所蔵点数	17	63	
マルチメディアデイジー貸出点数	0	5	

B

## 目標 2 誰もが使いやすい図書館

### 【重点事業】 図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

#### 1 一人一人に合わせた資料の提供とその周知

#### 取組 2 多言語資料の収集に努めます。

指標項目	令和 5 年（2023 年）	令和 6 年（2024 年）		
	実績	実績	自己評価	
所蔵する資料の言語の種類数 （日本語以外）	36— 29	29	所蔵点数は増えているが、貸出点数は微減している。言語の種類数についてはコンピュータで抽出できるわけではないので、正確な数がとらえられない。指標として望ましくないか。	<b>B</b>
日本語以外の資料の所蔵点数	5,573	5,788		
日本語以外の資料の貸出点数	5,424	5,374		

#### 【協議会委員の意見】

- ・「指標項目の自己評価欄に「言語の種類数についてはコンピュータで抽出できるわけではないので正確な数が捉えられない」と記載があるが、所蔵資料が言語ごとに抽出できれば統計数値の信頼性と市民サービスの質が向上する。すぐには難しいかもしれないが、将来的に、システム機能のカスタマイズや開発要望を検討されることが望ましいと考える。
- ・図書館に多言語資料があることで、文字・ビジュアルからも、市民が多様な文化に触れる機会が生まれる貴重な国際理解教育の場になる。書店では「売れる」言語の書籍しか基本的に置きませんが、海外ルーツの方は、自分の母語の図書が自分の住む町にあることで、母語、文化の維持とともに、自身の母語存在が認められている、認知されているという誇りを感じることができる。鎌倉市在住の海外ルーツの方の国籍・母語をすべてカバーするくらいの取り組みがさらに拡充されることを期待する。このことで、鎌倉市での暮らしやすさや暮らし楽しさを向上させることもできる。実現には多くの努力が必要ですが、日本出身の方、海外出身の方両方に貴重なメリットのある取り組みになると考える。

## 目標 2 誰もが使いやすい図書館

### 【重点事業】 図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

#### 1 一人一人に合わせた資料の提供とその周知

#### 取組 5 サピエ図書館の周知に努め利用促進を図ります。

指標項目	令和 5 年 (2023 年)	令和 6 年 (2024 年)	
	実績	実績	自己評価
サピエ図書館 利用数	114	69	他機関を通しての利用や、当事者の再生機器の故障等で貸出件数は微減している。また、今年度から国立国会図書館から鎌倉市図書館が制作した音訳図書のダウンロードができるようになった。2075 件ダウンロードされている。サピエ図書館の検索結果でも表示されるため、市内の利用者から自宅でダウンロードできたという声をいただいている。
どのような周知を行ったか	図書館ホームページで周知 サピエ図書館のチラシの配布 市の障害者サービス新規登録者への声掛け	図書館ホームページで周知 サピエ図書館のチラシの配布 市の障害者サービス新規登録者への声掛け 地下道ギャラリーや図書館だよりでの PR	地下道ギャラリーなどで制度の紹介を見かけたという声をいただいております、館外へ PR ができた。

**B**

## 目標 2 誰もが使いやすい図書館

### 【重点事業】 図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

#### 2 各種電子サービス等デジタル環境の整備

取組 2 鎌倉市にふさわしい博物館基本構想」の中でうたわれている将来的な「MLA 連携」を視野に入れた「デジタルアーカイブ」の発信と活用を促進します。

評価項目	令和 5 年度（2023 年度）	令和 6 年（2024 年）		
	実績	実績	自己評価	
デジタルアーカイブの発信と活用に向けて何をを行ったか	<p>所蔵の震災史料デジタル資料について、関東大震災 100 年を節目に、防災資料としての活用のため、国、県への情報提供を行った。</p> <p>令和 5 年（2023 年）3 月に発行した『古都鎌倉へのまなざし』掲載写真データの活用による各地域での写真展等の開催に資料提供を行った。</p>	<p>令和 6 年度（2024 年度）新規登録デジタル資料 写真 191 絵葉書 7 古絵図 64 計 262 点 令和 6 年（2024 年）12 月末現在登録計 1,659 点</p> <p>各地域での写真展等への資料提供やテレビ雑誌等メディアでの活用を行った。令和 6 年（2024 年）4 月～12 月末 計 45 件</p>	<p>デジタル化資料の登録によって、図書館ホームページやジャパンサーチから当館所蔵資料へのアクセスが容易になったことから、相談や問い合わせが市外からも多く寄せられるようになった。</p>	<b>A</b>

#### 【協議会委員意見】

- ・鎌倉市図書館のホームページで公開されている写真や古絵図は大変貴重な資料であり、利用の範囲の説明（「鎌倉市図書館デジタルアーカイブについて」）も親切な案内だと感じた。今後もデジタル化を推進していただければと思う。
- ・デジタル化の資料の登録は大変労力を必要とする作業だが、市外からも相談・問い合わせがある等、大きな効果を生んでいることが評価される。将来的な MLA 連携にも期待される。

## 目標 2 誰もが使いやすい図書館

### 【重点事業】 図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

#### 2 各種電子サービス等デジタル環境の整備

##### 取組 3 図書館資料のデジタル化と公開を推進します。

指標項目	令和 5 年(2023 年)	令和 6 年 (2024 年)	
	実績	実績	自己評価
デジタル化された資料点数	2,436 点	0	令和 5 年度（2023 年度）事業でデジタル化した資料にタイトル等の情報を付け、図書館ホームページでの公開を進めた。写真資料 1 点ずつへのキーワード付与には郷土史の知識が必要であり、公開までに複数年度かかることがみこまれる。
デジタル化資料のホームページアップ点数	デジタル化資料の登録公開 84 点	デジタル化資料の登録公開 262 点（～2024.12.31）	
ジャパンサーチ閲覧件数	367 件	329 件（～2024.12.31）	

**A**

#### 【協議会委員意見】

- ・読み上げ機能や文字拡大機能を備えた電子書籍であれば、障害を有する人にとって有用である。電子書籍コンテンツサービスに関する情報収集を継続して重ねていただき電子書籍の必要性について見通しがたった場合は予算取りを行っていただきたい。
- ・きめ細かな数字データにより、登録公開数、閲覧件数が把握的大変すばらしい。自己評価欄にあるように写真資料 1 点ずつの情報付与等、大変な労力を要する作業だと推察されるが、図書館外の協力・連携をさらに積極的に活用していくことも、検討の余地があるかもしれない。将来的に大きな価値を生むと考えられるこの作業引続き進めていかれることを心から期待している。

**取組 4 新聞、百科事典などのデータベースの充実に努めます。**

評価項目	令和 5 年(2023 年)	令和 6 年 (2024 年)		A
	実績	実績	自己評価	
データベース充実に向けて何を行ったか	情報収集を行った	国立国会図書館「歴史的音源の公立図書館等への配信提供サービス」参加 (2024.9～)	レファレンス (調べもの案内) に活用できるツールの種類の幅が広がった。	

**取組 5 電子書籍導入の検討を行います。**

評価項目	令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年 (2024 年)		B
	実績	実績	自己評価	
どのような検討を行ったか	7月に電子書籍についての考え方をまとめた。 9月、市のシステム審査会に電子書籍導入について、趣旨は了承された (予算の裏付けはなく、補助金を取るなどが必要)。 TRC、オーバードライブ (TOHAN) からの情報収集に努めた。	主に情報収集を行った。	予算の裏付けや補助金の取得などができず、昨年度からめだった進展はない。	

**取組 6 図書館ホームページ内で鎌倉に関する情報コンテンツの連携を検討します。**

評価項目	令和 5 年 (2023 年)	令和 6 年 (2024 年)		B
	実績	実績	自己評価	
どのような検討を行ったか	鎌倉学(市内 5 地域それぞれの地域資料)のパスファインダーの改訂に取り組んだ。リンク集の改訂を検討している。	鎌倉学(市内 5 地域それぞれの地域資料)のパスファインダーの改訂を行った。	システム更新を見据え、新たなコンテンツの連携を継続して検討していく。	

## 協議会委員からの全体に対するコメント

- ・今のところ、「誰もが使いやすい図書館」＝「障害者サービス」と見えてしまう。『IFLA-UNESCO 公共図書館宣言 2022 年』にもあるように、障害者手帳の所持者に限らない「図書館利用に障害（障壁）のある人」へのサービスとなるよう進めていただければと思う。
- ・学習も学校などのフォーマルな形態もあるが、個人的なデバイスには教材が提供され、PC 持ち込みで勉強するスタイルも一般的になってきた。図書館は地域コミュニティの生涯学習を支援する機関なので、中央館への Wi-Fi 導入は評価できる。新しい学習機会の提供にもなるので、地域館への導入も強く望む。
- ・「MLA 連携」も視野に入れているということなので、「鎌倉文学館デジタルアーカイブ」との連携も実現できないか
- ・電子書籍の導入については、多言語の洋書やオーディオブックなど図書館を利用しづらい人へのサービスにつながるのももう少しスピード感を持って検討してはいかがか。また電子書籍についてどのような情報収集ができたのか教えていただけると助かる。
- ・誰もが使いやすい図書館としての広報の意味合いも含め、「りんごの棚」の設置を検討しても良いかもしれない。
- ・目標 3 の「未来につながる図書館」において、基本設計に関わる機能の提案を提出したとのこと。新深沢図書館は、「賑わいも、静寂も、くつろぎも、いっしょに楽しむ親子も、集中したい学生も、のんびりしたい大人も、ゾーンを分けてみんな快適に過ごせる図書館をつくります」としている。地域コミュニティの社会インフラとして、また、子どもへの読書支援や学校支援に力を入れる構想だと思う。一方、新庁舎に併設されることで市役所を訪れるビジネスパーソンや業者の方々、また市役所職員への行政支援についてはどうされるのか。図書館専有面積が少ないことや人的資源の問題もあり、なかなか難しいことであるとは理解している。
- ・重点事業に関する取り組みの指標項目は約 7 割が A(達成・実施)となっており、全体的に評価されるべき内容であったと思う。B(現状維持)や C（未達成、未実施）であった項目は、すぐには再検討や改善が難しいかと思われるが継続して取り組んでいただければと思う。
- ・第 4 次サービス計画の策定、実行、評価資料を拝見し、図書館職員の皆さんの大変丁寧で真摯な仕事の様子が想像され、あつい敬意を感じている。第 4 次サービス計画中の資料からも、鎌倉の市の自治体サイズに比して図書館に対する予算・人員数が低いことがわかるが、サービス計画年次評価票では、評価や理由をそのことに帰することのなき、職業意識の高さも勝手ながら感じた。

## 用語解説

### 【LLブック】

「やさしく読みやすい本」という意味のスウェーデン語（Lättläst）の略。文字情報を正確に読めない、読むことが苦手な人のために読みやすく書かれた本。幼児向けという意味ではなく、それぞれの生活年齢に合った内容がやさしく理解できるよう配慮されている。

### 【サピエ図書館】

日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っている図書館。会員登録することによりホームページから点字データ、デイジーデータをパソコンや携帯電話にダウンロードすることができる。また、加盟している図書館が所蔵する資料を、オンラインリクエストなどによって利用できる。

### 【ジャパンサーチ】

国会図書館がシステムを運営する、我が国の幅広い分野のデジタルアーカイブと連携し多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォーム。

### 【蔵書回転率】

図書 1 冊につき、1 年間に何回貸出されたかを示す数値。 $\text{年間貸出冊数} \div \text{蔵書冊数}$ 。

### 【蔵書更新率】

資料の更新が 1 年間にどの程度されているかを示す数値。 $(\text{受け入れ冊数} + \text{除籍冊数}) \div \text{蔵書冊数}$ 。

### 【蔵書新鮮度】

1 年間に蔵書がどれだけ新しくなっているかを示す数値。 $\text{新規受け入れ冊数} \div \text{蔵書冊数}$ 。

### 【大活字本】

弱視者（低視力者、高齢者など）にも読みやすいように、大きな活字で版を組みなおされた本のこと。

#### 【デイジー図書／マルチメディアデイジー】

デイジー図書とは、CD-ROMなどに録音した図書のこと。通常の録音図書と違い、大量の情報を蓄積でき、読みたいページへのジャンプ機能がついているなど利便性が高い。

デイジーは専用の機器でしか再生することができないが、一般的な利用ができるようパソコンでの再生に対応したものがマルチメディアデイジーである。

文字・音声・画像を同時に再生でき、文字の大きさや読み上げるスピードの変更なども可能。どちらも印刷された文字を読むことが難しい障害をもつ人などの読書手段として利用される。

#### 【デジタルアーカイブ】

文化資産をデジタル映像で保存蓄積するもの。鎌倉市図書館では近代史資料室の古写真や絵図、古地図等を順次デジタル化し、ホームページ上で公開している。

#### 【やさしい日本語】

日本語に不慣れな外国籍の方や子供、障害者にも分かりやすく配慮した簡単な日本語。

#### 【レファレンス】

調べごとや探しもののお手伝い。何らかの情報を求めている人に対し、図書館員がその回答や参考となる資料を紹介するなどして、利用者と必要な資料や情報との出会いを助けるサービス。

#### 【レファレンス協同データベース】

国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している調べ物のためのデータベース。一般公開事例はだれでも閲覧できる。

## これからの図書館のあり方について

- 1 読書バリアフリーに対応する設備（令和6年度第2回 協議済み）  
障害のある人もない人も共に心地よく図書館を利用できるようにするための機能や設備。
- 2 新図書館に求める機能（令和6年度第3回 協議済み）  
基本計画には描き切れていない新図書館に必要とされる機能。
- 3 地域館のあり方  
公共施設再編計画では、地域拠点校ができる際には複合施設の一部として図書館機能も入ることとされている。しかしながらその時期は未定であり、当面は現在の地域館の体制が続くと推察される。常に未来につながる図書館を検討していく中では、地域館における基本的な機能に加え、地域との連携やそれぞれの役割、それぞれの地域館ならではの特色といったものを描き実現していく必要がある。
- 4 運営体制  
常に未来を見据え、持続可能な図書館運営について考える必要がある。
- 5 電子書籍（令和6年度第1回 協議済み）  
外出が困難でも在宅で利用できる図書館、子ども読書の推進の観点からの学校との連携など、メリット、デメリットについて考える必要がある。
- 6 蔵書数  
利用者ニーズにこたえるための目標値。電子書籍が導入された場合でも、基本的な資料は残す必要があると考えた場合の蔵書数と保管場所。

協議をまだ行っていない「3 地域館のあり方」「4 運営体制」「6 蔵書数」については、協議事項のなかで引き続き協議するとともに、今回の諮問の「第5次鎌倉市図書館サービス計画の諮問について」の答申を得たのちに、改めて諮問していく予定である。

## 「鎌倉市図書館振興基金」第17号提案 『安田写真』整理保存デジタル化事業

### 1 提案理由

当館では鎌倉地域を撮影した写真ネガフィルムや印画紙プリント及びフィルムを多数所蔵しており、一部は図書館内で接写等を行い活用していますが、今後も貴重な郷土資料としてデジタル化し容易に閲覧できるようにするため提案します。

### 2 提案内容

安田三郎氏が昭和20～40年代に撮影した約14,000コマのネガフィルム、印画紙プリント等資料のデジタル化

(作業量：バインダーリフィルアルバム26冊、写真 約14,000カット、ネガフィルム3,049コマ)

### 3 作業

ア ページ毎にスキャンし、デジタル化し、コマ毎のトリミングを行う

イ ネガフィルムのデジタル化(画素数400dpi以上)

ウ デジタルデータはDVDに収める(TIF及びJPEG)

エ デジタル化画像を紙焼きしたものを簡易製本し、閲覧できる状態とする。

### 4 参考見積価格

計5,019,025円(税込み)

鎌倉市図書館振興基金の推移

(単位:円)

	積立金	寄附金	利息	計
平成23年度		120,391	0	120,391
平成24年度		678,170	20	678,190
平成25年度		1,174,732	659	1,175,391
平成26年度		337,159	3,846	341,005
平成27年度		1,086,924	384	1,087,308
平成28年度		2,191,820	614	2,192,434
平成29年度		1,838,931	761	1,839,692
平成30年度	12,528	3,764,233	647	3,777,408
平成31年度		3,021,923	5,517	3,027,440
令和2年度		2,291,000	2,749	2,293,749
令和3年度		4,655,360	277	4,655,637
令和4年度		6,080,748	1,178	6,081,926
令和5年度		4,984,918	5,561	4,990,479
令和6年度		3,120,338	3,173	3,123,511
令和7年度				
累 計	12,528	35,346,647	25,386	35,384,561

【参考】

ふるさと寄附金
630,000
1,870,000
1,353,000
3,388,000
2,764,000
2,170,000
4,476,000
5,933,000
4,793,000
2,891,000
30,268,000

(単位:円)

取崩し	取崩し内訳	残高	増減
		120,391	120,391
		798,581	678,190
		1,973,972	1,175,391
		2,314,977	341,005
657,504	「鎌倉市観光鳥瞰図」購入費、鳥瞰図額装委託	2,744,781	429,804
		4,937,215	2,192,434
		6,776,907	1,839,692
596,160	「倭国一覽路の記」・「都道府県別人物・人材リスト」購入費	9,958,155	3,181,248
1,040,082	「相模国鎌倉郡社寺境内筆彩色図」デジタル化作業委託・保存手当て作業委託、「相模国鎌倉郡社寺境内筆彩色図」購入費	11,945,513	1,987,358
682,000	「晚翠吟社詩稿」デジタル化作業委託、「江之嶋鎌倉紀行」購入費	13,557,262	1,611,749
1,361,272	「田辺松坡関係資料」デジタル化業務委託、「鎌倉郡二階堂村切図」購入及びデジタル化業務委託、「柏尾川関係資料」補修及びデジタル化業務委託	16,851,627	3,294,365
0	なし	22,933,553	6,081,926
7,017,725	写真資料整理保存等業務委託、鎌倉古絵図デジタル化事業委託、鎌倉周辺地域古絵図デジタル化事業委託	20,906,307	▲ 2,027,246
656,700	資料保存用中性紙封筒購入(299,750)、フィルム劣化対策剤購入(224,950)、「鎌倉右幕下焼香場の図」購入(132,000)	23,373,118	2,466,811
0	なし		
12,011,443		13,557,262	